

衛 研 発 第 0921001 号
平成 30 年 9 月 21 日

各関係機関の長 殿

国立医薬品食品衛生研究所長
(公 印 省 略)

安全性生物試験研究センター毒性部第二室長の公募について

謹啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、当所安全性生物試験研究センター毒性部第二室長を募集することになりました。つきましては、御多忙のところ誠に恐縮とは存じますが、貴機関関係者に御周知くださるようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 職名

安全性生物試験研究センター毒性部第二室長（厚生労働技官・研究職）

2. 業務内容

当所安全性生物試験研究センター毒性部においては、化学物質、食品、医薬品等の業務関連物質の生体影響とその毒性（有害性）評価に関連する試験・基盤研究・応用研究及び実験動物の飼育管理とこれらに必要な研究を行い、国際的なガイドライン作成など、行政対応業務にも携わっている。

今回募集する第二室長は、主として同室の所掌となる毒物、劇物又は化学物質に関する毒性学的試験及び研究を企画・遂行・総括するとともに、これらに必要な研究業務として特に、毒性学的試験の開発研究を自らあるいは室員を指導、統括して実施するとともに、有害物質等の安全性評価といった行政対応業務及び、毒性学的分野での国内外との調和に関する業務に従事する予定である。

3. 応募条件

- （1）生命科学領域（医学、獣医学、薬学等）の博士の学位を有しており、原則、学位取得後12年以上の研究経験を有すること。
- （2）募集する業務内容に示した分野の試験・研究を実施する上で必要な、毒性学、分子生物学又は生化学等、生命科学に関する専門的知識及び経験並びに研究業績を有すること。
- （3）実験動物の解剖学、生理学、薬理学、病理学の知識があり、催奇形性試験などの特殊毒性試験を含む実験動物を用いた毒性評価や毒性試験の実施経験を有すること。
- （4）毒性予測手法としての遺伝子発現解析やオミックス解析の経験を有することが望ましい。
- （5）研究室員を組織・統括し、試験・研究を指導・掌握する管理能力と人柄を有すること。
- （6）厚生労働省所管の国立研究機関における試験・研究の意義及び責務並びに行政対応業務に対する理解及び意欲を有すること。
- （7）外国人との専門分野の打ち合わせ、討論を行うに足る英語力を有すること。

4. 提出書類

- (1) 履歴書（市販の横書き履歴書用紙又はそれに準ずる様式のものに高等学校卒業以降の経歴を記入し、写真（6か月以内に撮影）を添付すること。）
- (2) 現在までの研究概要
- (3) 研究実績目録（主な学会発表を含む。）及び主要論文別刷（5編以内）
- (4) 将来への抱負（陳述書）（2,000字程度）
- (5) 学位記（写し）又は学位を証明するもの
- (6) 現在までの競争的研究費の取得状況
- (7) 推薦状（複数可）
- (8) 着任時期について希望がある場合は、その旨を記載した書類
※各書類が複数枚になる場合にはクリップ止めにすること（ステープラは使用しない）。
※（2）～（4）、（6）～（8）は様式自由。
※応募書類は返却しません。

5. 応募締切日

平成30年11月30日（金）13時（必着・締切厳守）

6. 選考採用試験

- (1) 書類選考 平成30年12月上旬～中旬（予定）
- (2) 面接試験 平成30年12月下旬～平成31年1月上旬（予定）
※面接には、15分程度のプレゼンテーションを含む。
※面接の実施場所は、国立医薬品食品衛生研究所

7. 採用予定年月日

平成31年3月1日（予定）（事情により応相談）

※着任時期について希望がある場合は、4. 提出書類（8）の書類を提出すること。

8. 処遇

- (1) 給与は、「一般職の職員の給与に関する法律（昭和25年法律第95号）」等に基づき、学歴・経歴等を勘案して決定する。
- (2) 1週間当たりの勤務時間は38時間45分（週休2日制）である。
- (3) 年20日の年次休暇（採用の年は、採用の時期により20日より少ない日数となります。）のほか、特別休暇（夏季・結婚・忌引・ボランティア等）、病気休暇の制度が整備されている。

9. 書類提出先

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26

国立医薬品食品衛生研究所長

※ 応募書類の封筒には「安全性生物試験研究センター毒性部第二室長応募書類在中」と朱書の上、書留にて郵送又は総務部総務課人事係に持参すること。

10. 本件問い合わせ先

国立医薬品食品衛生研究所総務部総務課人事係 大胡田純一

電話：044-270-6600 内線1103

E-mail: ogoda@nihs.go.jp